

大飯発電所における安全確保対策の現地確認結果について

平成 25 年 5 月 17 日
滋賀県防災危機管理局

本日、関西電力(株)大飯発電所 3、4 号機の安全確保対策の進捗状況について、京都府と合同で、滋賀県原子力防災専門家会議委員等による現地確認を行いましたので、その結果をお知らせします。

記

- 1 確認実施日時
平成 25 年 5 月 17 日(金) 13 時 30 分から 15 時 30 分
- 2 対象施設
関西電力(株)大飯発電所(福井県大飯郡おおい町大島)

3 確認者

みさわ つよし 三澤 毅	京都大学原子炉実験所教授	・京都府原子力防災専門委員 ・京都府防災会議地域防災の見直し部会委員
たけだ としかず 竹田 敏一	福井大学附属国際原子力工学研究所特任教授	・滋賀県原子力防災専門家会議座長代理
京都府府民生活部防災・原子力安全課 および 滋賀県防災危機管理局の職員		

4 説明者

関西電力(株) 原子力事業本部 副事業本部長 勝山 佳明
大飯発電所 所 長 鈴木 聡
副 所 長 中西 繁孝

5 確認事項等

(1) 趣旨および目的

平成 25 年 1 月から 3 月末までに完了した対策について状況を確認するとともに、進捗中の取組状況を確認

(2) 確認事項(完了分)

3 月末までに完了した 5 項目について、整備されていることを確認(うち 1 項目は、前倒して実施)

対 策 等	実施内容
非常用直流電源の強化 【対策 8 - ②】	常用系蓄電池から非常用直流電源系統への接続・給電
給電口への接続困難時のマニュアル整備 【対策 10 - ③】	空冷式非常用発電装置から建屋給電口へのケーブル接続が困難な場合に備え、ケーブル同士を直結するための工具の整備およびマニュアルの整備

弁作動用空気確保のためのコンプレッサー等の確保 【対策15-③】	配管中の空気作動弁が電源喪失により作動しなくなった場合に備え、作動させるための窒素ボンベ・コンプレッサー等を配備
可搬型モニタリングポストの追加配備 【対策29-④】	通信機能、専用電源を備えた可搬型モニタリングポストを6台配置 【平成26年3月完了予定を前倒し実施】
更なる資機材・予備品の確保 【対策30-7】	原子炉等の重要なパラメータを監視する予備の可搬型計測器160台、資機材・予備品リストの整備

※ 技術的知見に関する30の安全対策(85項目)および原子力安全・保安院がストレステスト一次評価の審査において一層の取組を求めた事項(12項目)のうち、平成25年1月から3月末までに完了したもの

(3) 委員の講評

- ・ 上記の項目については、計画に沿って実施され、完了したことを確認した。
- ・ なお、防波堤のかさ上げ工事、免震事務棟の基礎工事等については、整備が進捗していることを確認した。
- ・ こういった項目の緊急事態における対策の実効性を高めるため、更に訓練や研修を積極的に進められるよう、要請した。
- ・ 事業者独自の安全対策について今後も取り組みを続けていくよう、要請した。

1. 29-④ 可搬型モニタリングポストの確認



2. 10-③ 給電口への接続困難時の対応確認



3. 8-②常用蓄電池から非常用直流電源系統への接続の確認



4. 代替指揮所の確認



竹田委員の講評

- 技術的知見に関する30の安全対策については、関西電力独自の方法を含め、順調に進んでいることを確認した。
- 関西電力には、安全確保に向けた今の姿勢を続けていただくようお願いする。併せて、新たに整備した安全対策については、緊急時に機能するよう、日頃から訓練や研修を徹底してほしい。
- 原子力規制委員会から新たな規制基準が示されてきている。現場の知見は事業者が一番持っているはずなので、関西電力には、リスク評価を徹底して行い、独自の安全対策を含めた実のある取組を進めてほしい。